

オンラインセミナー
フィリピンにおける人権侵害は、いま
コロナ禍、選挙、開発の現場を歩いて

選挙に絡む暴力事件 フィリピン南部の状況

2022年12月22日

石井正子

立教大学異文化コミュニケーション学部

内容

1. フィリピンにおける政治家の殺害
2. 2022年5月9日フィリピン総選挙に絡む暴力事件：
バシラン州に注目して
3. リマインド・・・これからも追っていく人権侵害の
ケース

2020年12月10日 世界人権セミナー 麻薬おとり捜査とある**村長の死**

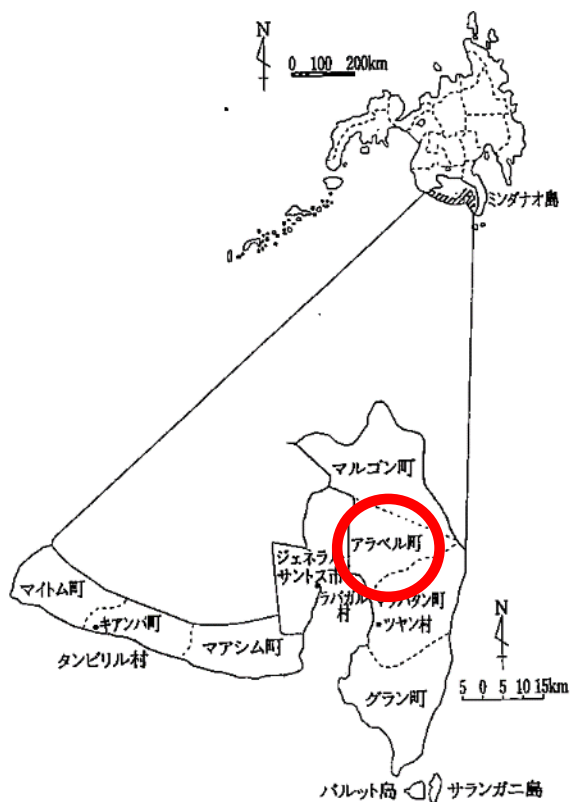


図2 サランガニ地方



「ジョニー村長」

Hassan/ "Diony" Patricio Seromines
サラランガニ州アラベル町カワス村・村長

2021年12月10日 世界人権セミナー 進まない捜査から見えてきたこと

「確証はないが、
警察が逮捕者を
暗殺に使っている」

「目撃者が証言を
恐れている」

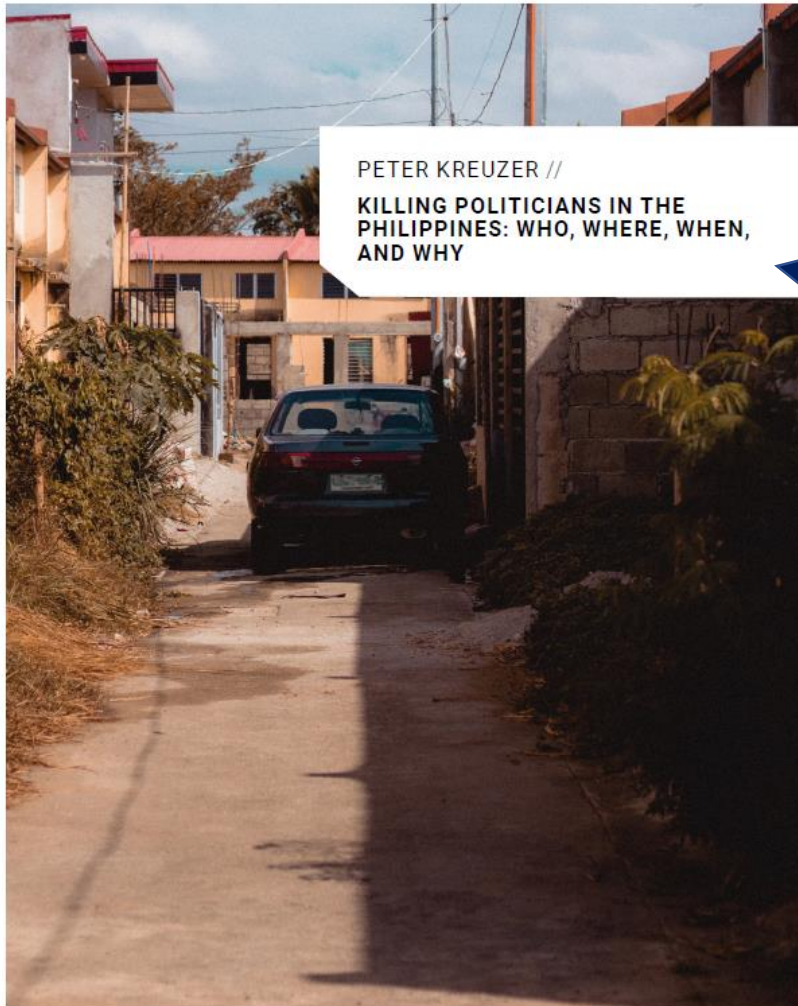
事件の背後に
ジョニーの存在を邪魔に
思う政治家がいるのでは
ないか。。。。



「ジョニー村長」の遺族

Hassan/ "Diony" Patricio Seromines
サランガニ州アラベル町カワス村・村長

フィリピンにおける政治家の殺害



フィリピンにおける
政治家の殺害

だれ、どこ、いつ
そしてなぜ？

Kreuzer, Peter. Killing Politicians in the
Philippines: Who, Where, When, and Why.
PRIF Report, February 2022.

だれが?いつ?

- 約70人/年(2006.1~2021.6)
- 村長の殺害がもっとも数が多いが、一番危ないのは町長・市長
 - ・ 10万ポストあたりの殺害数:村長76人、町長・市長417人
 - ・ ただし、村長の殺害は増える傾向に
- 選挙期間中と選挙直後に増える傾向
- 右肩あがり(ドゥテルテ政権期に特に増える)

表 選出された政治家の暗殺に絡む犠牲者数2006年1月~2021年6月

単位:人

	殺害	負傷	危害無	合計
村長	402	61	33	496
村会議員	306	35	16	357
町長・市長	58	16	23	97
副町長・副市長	35	10	8	53
町会議員・市会議員	126	34	5	165
合計	927	156	85	1168

*政治家=村長、村会議員、町長・市長、町会議員・市会議員に限定

出典: Data Set. Kreuzer, Peter. Killing Politicians in the *Philippines: Who, Where, When, and Why*. PRIF Report, February 2022, p7. hsfk.de/prifrep0222appendix

Q:どこ? A:全国どこでも

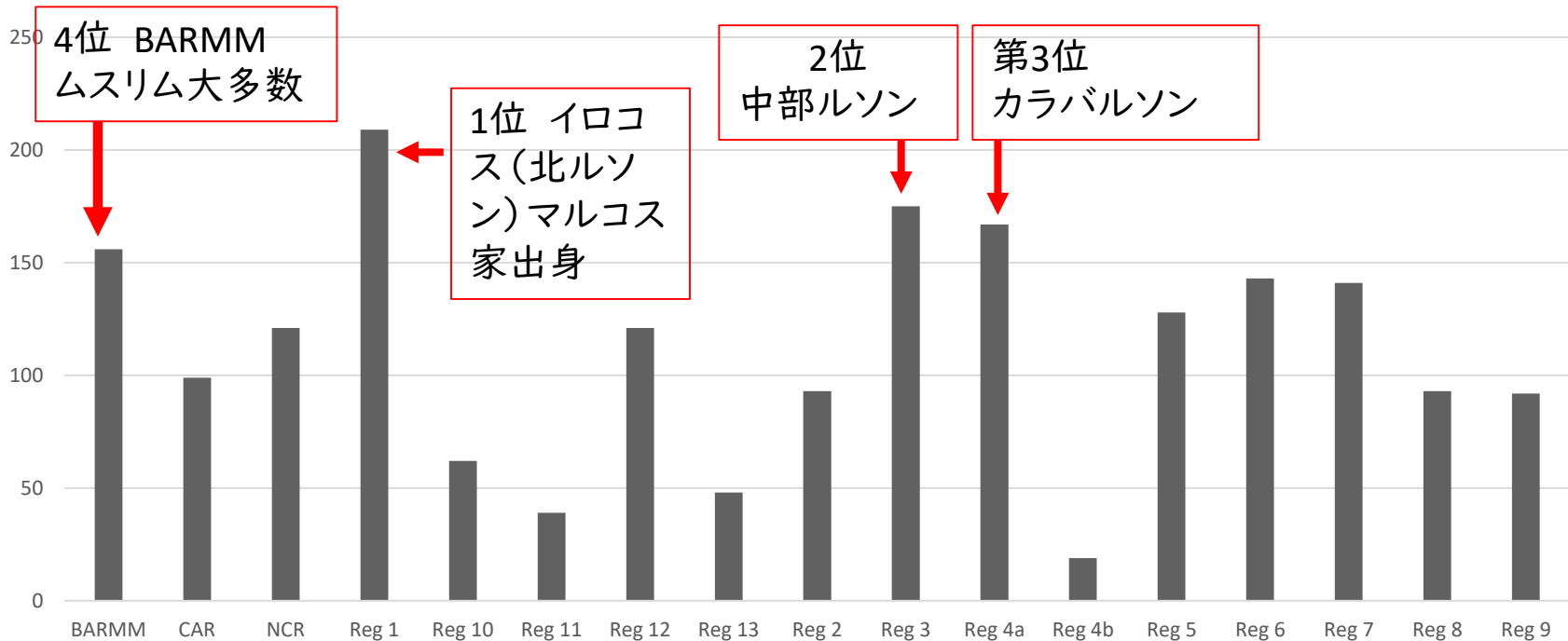
➤ 最近の傾向:南下

政治家の暗殺に絡む犠牲者数(地域別)

2006年9月17日~2021年9月29日

N(総数)=1906人

*ドライバーや
ボディガードなど暗殺に
巻き込まれた人物を含む



*政治家=村長、村会議員、町長・市長、町会議員・市会議員に限定

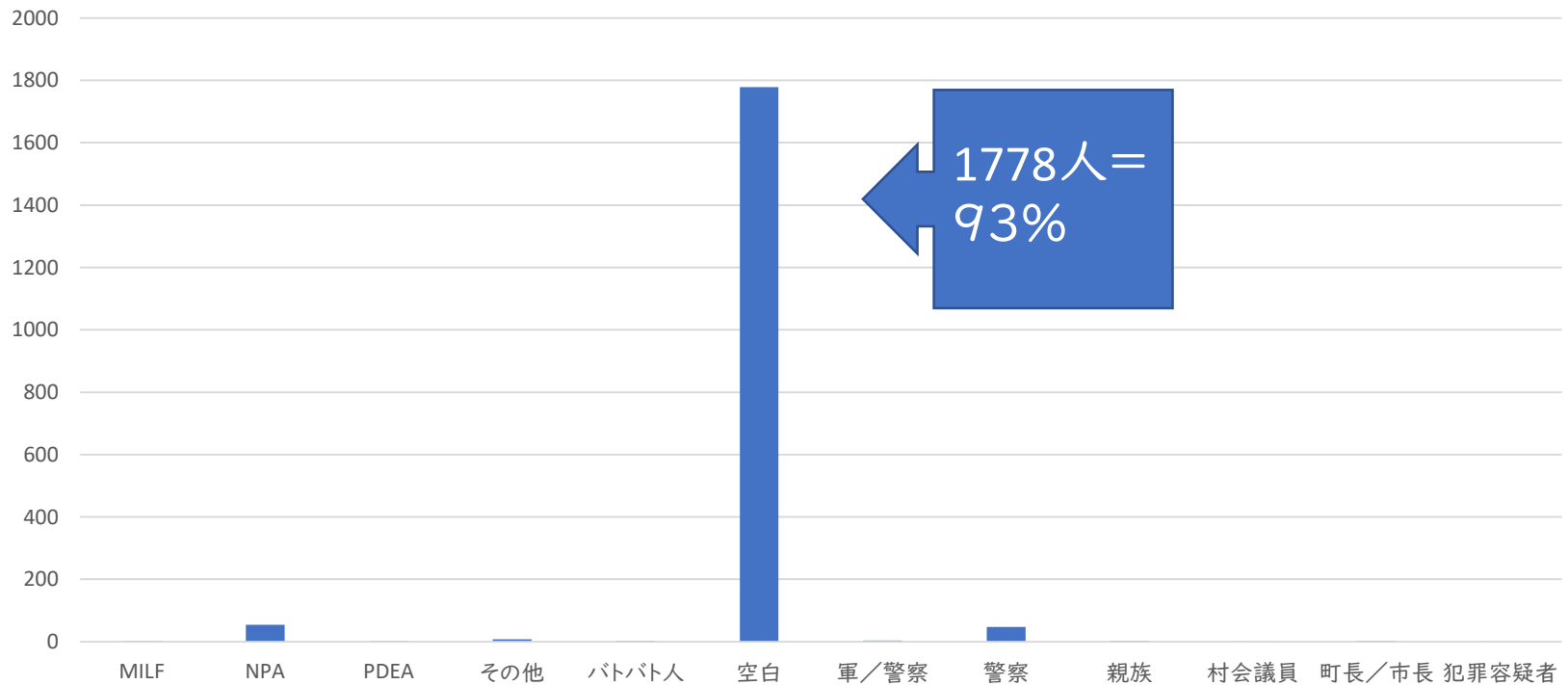
出典: Data Set. Kreuzer, Peter. Killing Politicians in the *Philippines: Who, Where, When, and Why*. PRIF Report, February 2022. hsfk.de/prifrep0222appendix

だれによって？

- ドゥテルテ政権以降：警察による殺害が増えている
- 雇われた人物による殺害、誰が命令したか分からない、免責

政治家の暗殺に絡む犠牲者数（暗殺者別）
2006年9月17日～2021年9月29日

N（総数）=1906人
*ドライバーや
ボディーガードなど暗殺に
巻き込まれた人物を含む



*政治家=村長、村会議員、町長・市長、町会議員・市会議員に限定

*暗殺者がある程度特定されているが不確かな場合にはその他に分類

出典：Data Set. Kreuzer, Peter. Killing Politicians in the *Philippines: Who, Where, When, and Why*. PRIF Report, February 2022.

hsfk.de/prifrep0222appendix

2022年総選挙

- NAMFREL (自由選挙のための全国市民運動)、PPCRV (責任ある投票のための教区会議) の報告
 - おおむねスムーズ
 - 買票問題が顕著

- 選挙関連暴力 (検証済、フィリピン警察の発表)
 - 2016年 133件
 - 2019年 60件
 - 2022年 27件 (ミンダナオ11件、BARMM3件)
 - ◆ 押収した火器: 10,000点

出典 : Locus, Sundy. PNP validated 27 poll-related violence during election period, says Comelec. *Philippine Daily Inquirer*, May 19, 2022.

バンサモロ・ムスリム・ミンダナオ自治地域 7名死亡、20名以上負傷（2022年5月9日）



- マギンダナオ州ブルアン町：100名の警察官が動員されるが、身元不明者による発砲により、村落警備員の3殺害、1名負傷。別の場所で、前町長の家銃撃、町長候補者のドライバーも刺され病院で手当て。
- 南ラナオ州マラバン町：ハイスクールで対立する候補者の支持者の喧嘩による発砲で、3名死亡（対立する候補者の親族）、2名負傷。
- バシラン州タブアン・ラサ町：有権者に対する発砲により1名死亡、負傷者5名。



2021年12月6日、
アルバラカの町
長とそのドライ
バー殺害。アクバ
ルの町長も負
傷。



Hadji
Muhtamad



スミシブ町
無差別発砲。
被害者なし

タブアン・ラサ町
発砲により1名
死亡、6名負傷。

Tabuan-Lasa

ヌルハサン・ジャミリ
2022年5月9日(投票日)
ティポ・ティポ町の2つの村の
投票箱を奪い、400箱を破壊。
警察は動かなかったとの証言もあり。



マラウィ包囲戦により
2017年10月死亡確認



Furuji Indama
2020年9月死亡



Radzmil Jannatul
2022年3月死亡



ヌルハサン・ジャミリ
元アブサヤフ
2018年3月、他12名を
引き連れて政府に投降



不安①

- ヌルハサン・ジャミリ（元アブサヤフ、投降者）の例
- アブサヤフの弱体化
- アブサヤフの投降者、残党（＝暴力のプロ）に対する政治家の庇護→対政敵に動員
- 町長がアブサヤフ残党の制圧に協力を躊躇する
→その後、政敵の庇護を受ける可能性を恐れる

不安②

ハタマン家とアクバル家の対立

- 2022年選挙結果（バシラン州）
 - 下院議員 :ムジブ・ハタマン(2019年～)
 - 知事 :兄(2016年～)
 - イサベラ市市長:妻
 - ラミタン市市長 :オリック・フリガイ
- 1998年:ワハブ・アクバル、バシラン州知事当選。ムジブは補佐官に。
- 2001年:ムジブ、ワハブの支援を得て政党枠から下院議員に当選。
- 2007年:ワハブの妻が知事に出馬し当選(2016年に心肺停止で死亡)。
- 2007年:ワハブ、ケソン市の下院議員会館の前で爆弾を仕掛けられ死亡。ハタマン兄弟の関与が疑われるも、立証できず。
- 2011年:アキノ三世大統領、ムジブをバンサモロ・ムスリム自治地域の知事に任命。

リマインド・・・

これからも追っていく人権侵害のケース

Basilan 73

20年以上拘禁されている人びと

- 2000年8月 アメリカ人Jeffrey ShillingがASGの人質に
- 2001年5月 ASG,パラワン島のリゾートからアメリカ人を含む20人を誘拐
- 2001年7月 アロヨ大統領、バシラン州が無法状態 (State of Lawlessness) であると宣言。国軍にアブサヤフの容疑者を逮捕状なしに36時間拘禁する権限を与える (DOJ Memorandum Circular No. 40)。
 - バシラン州出身者125名、スル州出身者106名、サンボアング市出身者36名が拘禁される。
 - うち、73名がタギグ市 (マニラ首都圏) の拘置所 (Camp Bagong Diwa) に移送="Basilan 73"。
 - 2005年3月、拘禁されていたアブサヤフ容疑者の逃亡の試みをきっかけに警察の特殊部隊が突入。23人死亡 (うち数名はBasilan 73)。

フィリピン 対テロ戦争の第二のフロント

1991年ごろ ASG(アブサヤフ)設立

アメリカ(人)を狙った攻撃

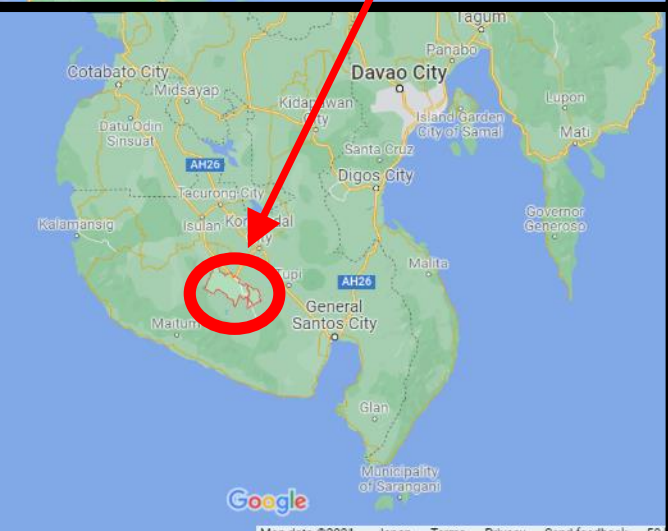
- 1993年2月 : ニューヨーク世界貿易センタービル地下駐車場爆破事件
- 1995年1月 : ボジンカ計画
- 2000年8月 : アメリカ人Jeffrey ShillingがASGの人質に
- 2001年5月 : ASG,パラワン島のリゾートからアメリカ人を含む20人を誘拐
- 2001年9月11日:同時多発テロ事件

不朽の自由作戦・フィリピン:対テロ戦争の第二のフロント

- 2001~2014年:米陸軍特殊部隊によるフィリピン国軍支援
- 2002年1月~:米比軍事合同演習「バリカタン」
- 2002年11月:軍事後方支援合意

2021年12月10日セミナー フィリピンにおける弁護士の超法規的殺害 ファン・マカバッド弁護士→進展なし

- ミンダナオ島南コタバト州スララ町
- 2021年9月15日自宅前で二人の正体不明者に殺害。
- ミンダナオ民衆弁護士連合 (Union of Peoples' Lawyers in Mindanao:UPLM)の副代表;第12地域管区の代表
- 海外(日本)輸出用バナナ園での農薬の空中散布に反対運動を支援



2021年12月10日セミナー

スミフル・フィリピンバナナ園 労働組合に対する弾圧



超法規的殺害の未遂と 超法規的殺害 (EJKs)

- 2018年9月4日：ナマスファ理事のVictor Ageasが待ち伏せされ襲われたが、幸運にも生き延びた。この事件は、この日に先だって労働者が資本家（スミフル）の事務所で行った抗議活動に対する（スミフル）資本家の報復であると、私たちは考えている。
- 2018年10月30日：労働者のストライキの強制解散から19日後、コンポステラの町を中心部で、組合リーダーの一人であるDannyboy Bautistaが殺害された。
- 2018年11月11日：ストライキに積極的に参加していた組合メンバーであるJerry Alicanteは、彼の家の外で待ち伏せされた。この私たちの同僚は腕に銃弾を受け、急いで走って逃げて助けを求めた。
- 2006年12月15日：当時の組合委員長であったBoy Barriosの一人団が待ち伏せされ襲撃を受け、仕事に行く委員長を迎えに行った仲間と一緒にいたJerson Lastimosoが殺害された。



参考文献

- Kreuzer, Peter. Killing Politicians in the Philippines: Who, Where, When, and Why. PRIF Report, February 2022.
- Kreuzer, Peter. Governors and Mayors in the Philippines: Resistance to or Support for Duterte's Deadly War on Drugs. PRIF Report, May 2020.
- Lamcheck, Jayson S. *Human Rights-Complaint Counterterrorism: Myth-Making and Reality in the Philippines and Indonesia*. Cambridge University Press, 2019.
- Locus, Sundy. PNP Validated 27 Poll-Related Violence During Election Period, Says Comelec. *Philippine Daily Inquirer*. May 19, 2022.